

参考資料

- ・健康日本21(第三次) の概念図

【出所】健康日本 21(第三次)推進のための説明資料(令和5年5月厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会他)

- ・健康日本21(第三次) 栄養・食生活に関する目標

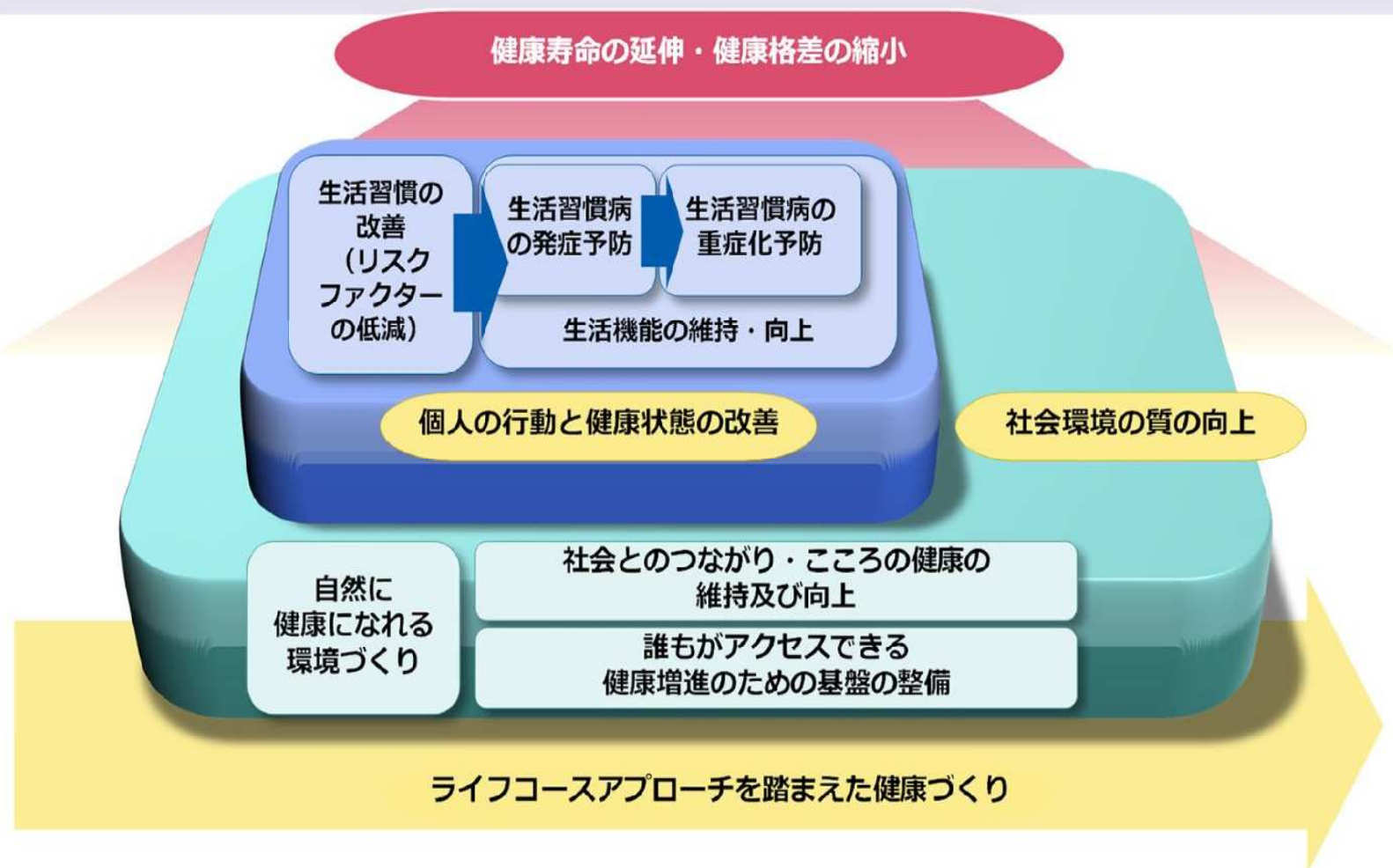
【出所】令和5年度都道府県等栄養施策担当者会議 資料

- ・次期北九州市健康づくりプラン指標

【出所】第2回健康づくり懇話会資料より栄養・食生活関連指標を一部抜粋

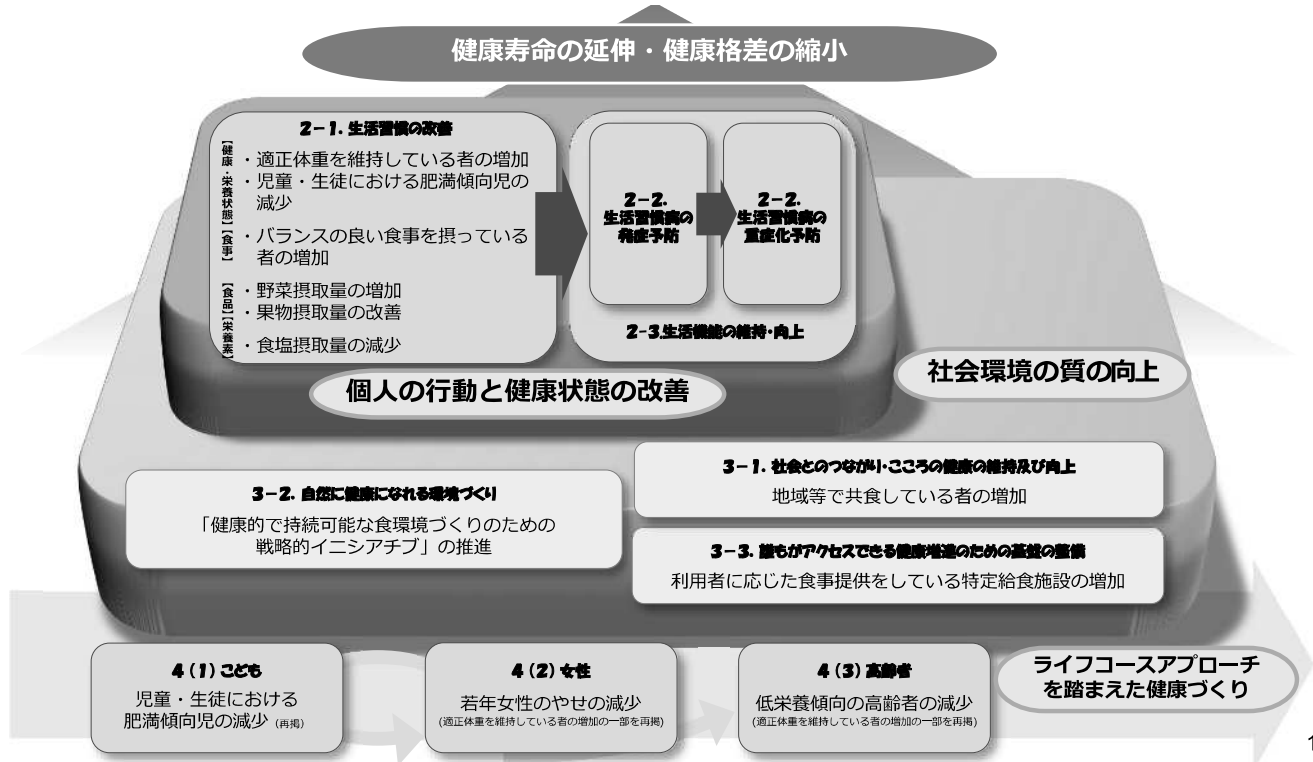
健康日本 21（第三次）の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



健康日本21（第三次）の概念図と栄養・食生活に関連する目標

栄養・食生活は、生命の維持に加え、こども達が健やかに成長し、また人々が健康で幸福な生活を送るために欠くことのできない営みである。また、多くの生活習慣病（NCDs）の予防・重症化予防のほか、やせや低栄養等の予防を通じた生活機能の維持・向上の観点からも重要である。さらに、個人の行動と健康状態の改善を促すための適切な栄養・食生活や そのための食事を支える食環境の改善を進めていくことも重要である。



栄養・食生活に関連する目標

生活習慣の改善（栄養・食生活）

目標	指標	現状値	目標値
適正体重を維持している者の増加（肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少）	BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合（年齢調整値）	60.3% (令和元年度)	66% (令和14年度)
バランスの良い食事を摂っている者の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	なし	50% (令和14年度)
野菜摂取量の増加	野菜摂取量の平均値	281g (令和元年度)	350g (令和14年度)
果物摂取量の改善	果物摂取量の平均値	99g (令和元年度)	200g (令和14年度)
食塩摂取量の改善	食塩摂取量の平均値	10.1g (令和元年度)	7g (令和14年度)

社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上

目標	指標	現状値	目標値
地域等で共食している者の増加	地域等で共食している者の割合	なし	30% (令和14年度)

自然に健康になれる環境づくり

目標	指標	現状値	目標値
「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」の推進	「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」に登録されている都道府県数	0都道府県 (令和4年度)	47都道府県 (令和14年度)

誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

目標	指標	現状値	目標値
利用者に応じた食事を提供している特定給食施設の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設（病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。）の割合	70.8%	75% (令和14年度)

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

目標	指標	現状値	目標値
児童・生徒における肥満傾向児の減少	児童・生徒における肥満傾向児の割合	10歳(小学5年生)10.96% (令和3年度)	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定
低栄養傾向の高齢者の減少	BMI20以下の高齢者（65歳以上）の割合	16.8% (令和元年度)	13% (令和14年度)
若年女性のやせの減少	BMI18.5未満の20歳～30歳第女性の割合	18.1% (令和元年度)	15% (令和14年度)

次期北九州市健康づくり推進プラン指標

第2回北九州市健康づくり懇話会資料より栄養・食生活関連指標を抜粋

指 標	現状値	(年度)
20～60歳代男性の肥満者の割合（BMI：25以上）	31.3%	(R4)
40～60歳代女性の肥満者の割合（BMI：25以上）	22.0%	(R4)
20歳代女性のやせの者の割合（BMI：18.5未満）	18.9%	(R4)
低栄養傾向の高齢者の割合（BMI：20以下の高齢者の割合）	21.8%	(R4)
小学1年生の肥満傾向児の割合	6.81%	(R4)
小学5年生男子の肥満傾向児の割合	15.46%	(R4)
小学5年生女子の肥満傾向児の割合	11.52%	(R4)
中学生女子瘦身傾向児の割合	2.94%	(R4)
小学生の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂取する者の割合	69.1%	(R4)
中学生の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂取する者の割合	65.5%	(R4)
20歳以上の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上摂取する者の割合	43.1%	(R4)
中学3年生における朝食をほとんど食べない者の割合	3.6%	(R4)
20～30代における朝食をほとんど食べない者の割合	25.3%	(R4)
20歳以上の1日350g以上の野菜を食べていると思う者の割合	12.8%	(R4)
20歳以上の塩分を控えていると思う者の割合	55.9%	(R4)
食生活改善推進員が関わる活動への参加者の増加	27,977人	(R3)
「きたきゅう健康づくり応援店」の登録店舗数	878店舗	(R3)